

クロバーロータリーカッターで作る ログキャビンのポーチ



制作時間 約2時間

用具

クロバーロータリーカッター

※〈45mm〉〈28mm〉のどちらか

パッチワーク定規、カッティングマット、

水性チャコペン、パッチワーク待針、

テープメーカー〈18mm〉、シンブル、

※テープメーカーWもテープワークやセルティックキルト
などにも使えて便利です。

キルティング針、シームオープナー

材料

プリント（写真の作品は7種類です）… 適宜

a布 : 5.5cm×5.5cm

b b'布 : 幅3cm×12.5cm (5.5cm+7cm)

c c'布 : 幅3cm×15.5cm (7cm+8.5cm)

d d'布 : 幅3cm×18.5cm (8.5cm+10cm)

e e'布 : 幅3cm×21.5cm (10cm+11.5cm)

f f'布 : 幅4cm×26.5cm (11.5cm+15cm)

g g'布 : 幅4cm×33cm (15cm+18cm)

裏布（プリントの1色）… 20×20cm

キルト芯 … 19×19cm

10cmファスナー … 1本

キルト糸

パッチワークで人気のログキャビンは、ピースをつなげながらキルト芯と裏布も一緒に縫うので、あとでキルティングの必要がありません。パッチワークはじめてさんにオススメです。

- ① できあがりサイズ（2枚目の作り方をご覧ください）に縫いしろ（約0.7cm）を加えた布を用意します。中心のa布は5.5cm×5.5cmを1枚、b・c・d・e布は幅3cmの布を、外回りのf・g布は幅4cmの布を必要量用意します。

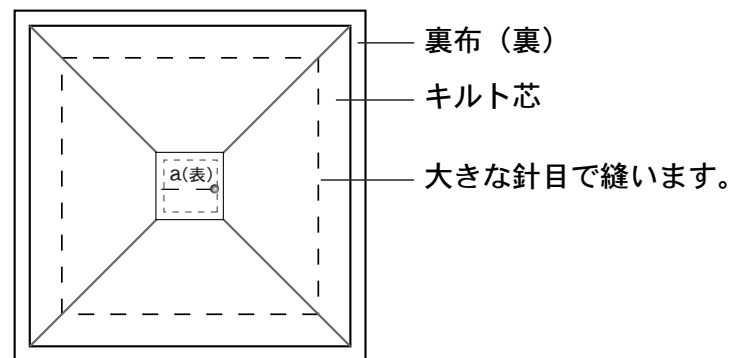
※たくさんの布をカットするときはクロバーロータリーカッター、パッチワーク定規、カッティングマットが便利です。

※生地の色合いはお好みですが、bdfとcegのグループで同色の布を使うときれいにまとまります。

- ② 裏布とキルト芯を合わせ、回りを大きな針目で縫い固定します。

キルト芯に水性チャコペンで×の印を付け、中心を決めます。

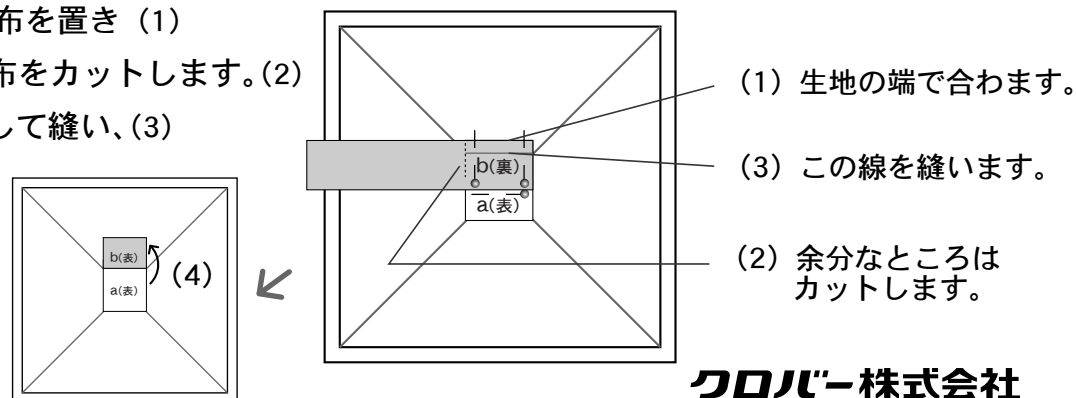
中心にa布をあて、4つの角をきっちり合わせ、待針を付けます。



- ③ a布の布端に沿ってb布を置き（1）待針を付け、余分な布をカットします。（2）縫いしろを0.7cm残して縫い、（3）縫い終わったら

b布を折り返し、（4）

アイロンまたはシームオープナーで折り目をつけます。

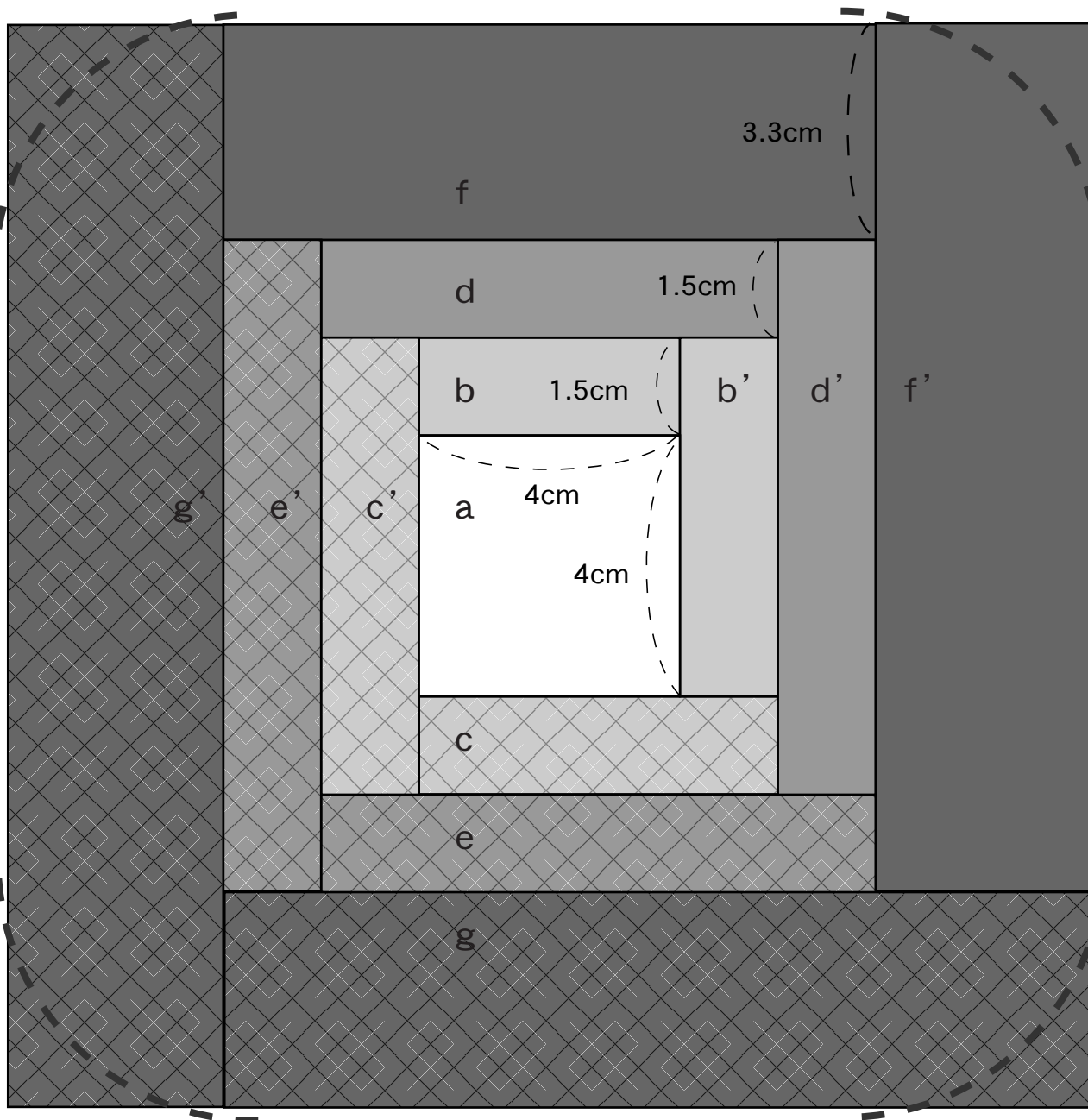


クロバー株式会社

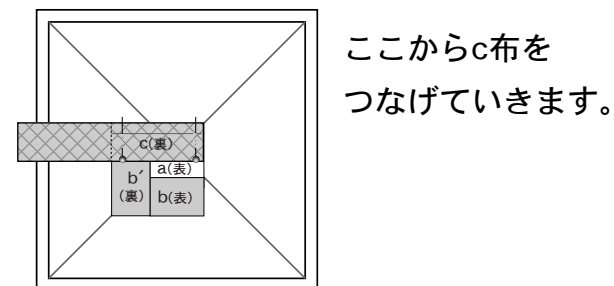
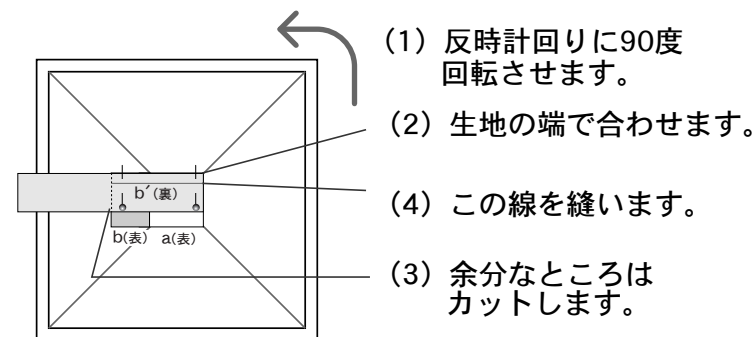
クロバーロータリーカッターで作る ログキャビンポーチ 1-3

出来上がりサイズ 約12cm(横)×7cm(縦)

できあがりサイズ ※縫いしろは約0.7cmです。



- ④ 次に反時計回りに90度回し、b'布を置き、縫いしろ0.7cmを残して縫います。
これをc → c' → d → d' → e → e' → f → f' → g → g'の順でピースをつなげていきます。



- ⑤ gまでつなげたら、左図のようになります。
縫ったところを避けて角を丸くカットします。
(---の部分)
次に、端から1.5cmを2本取りの大きい針目でぐしぬいし、袋口を約22cmに縫い縮めます。

- ⑥ 3.5cm×23cmのバイアス布を用意します。

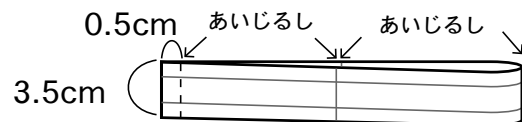
(写真はa布と同じプリントを使用しています。)

テープメーカーを使いアイロンでしるしを付けます。

- ⑦ ⑥でつくったバイアステープを中表にして、

端から0.5cmのところを縫い円にします。

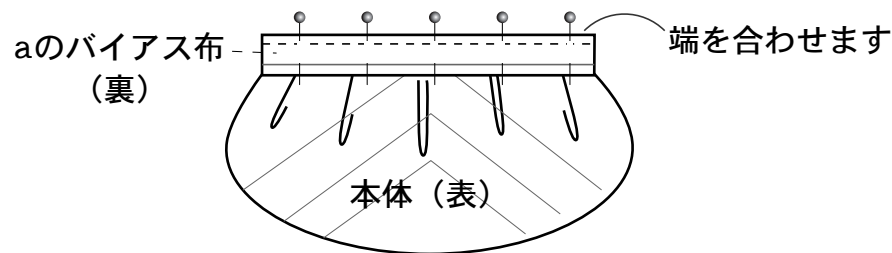
円を四等分するように5.5cm間隔で水性チャコペンであいじるしを付けます。



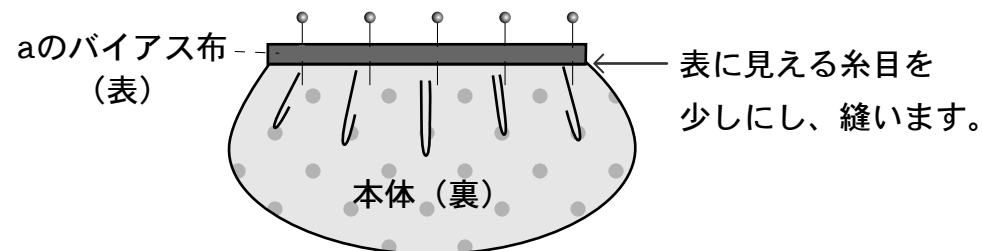
- ⑧ ⑤の本体と（ログキャビン柄を表にします）

⑦のバイアステープの端を待針で止めアイロンの折り目を縫います。

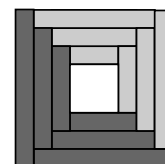
その時、ログキャビンの角の延長線とバイアステープのあいじるしが合うようにするとギャザーが均等に仕上り、きれいです。



- ⑨ 本体を裏返して、本体の端をバイアステープでくるみ、表に出る縫い目が目立たないようにし、たてまつりでパイピングします。



- ⑩ ファスナーを付けます。開閉がスムーズになるように、一方を付けたら、もう一方はファスナーの開閉を確認しながら返し縫いでしっかり縫い付けてできあがりです。



ここにできたパターンは「丸太小屋」です。明暗がある色で作りつなげると、さらにバリエーションが広がります。

